

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	ミクス・テオドラキス作曲 イアコボス・カンバネリス作詞 『マウトハウゼンのバラード』
Author(s)	土居本, 稔
Citation	プロピレア , 26 : 44 - 59
Issue Date	2020-12-30
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050160">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050160</a>
Right	Copyright (c) 2020 日本ギリシア語ギリシア文学会
Relation	



ミクス・テオドラキス作曲  
イアコボス・カンバネリス作詞  
『マウトハウゼンのバラード』

土居本 稔

## はじめに

『マウトハウゼンのバラード』は、「マウトハウゼン・トリロジ」としても知られ、ギリシアの作曲家ミクス・テオドラキス<sup>1</sup>が、1965年にマウトハウゼン強制収容所の生き残りであるギリシアの劇作家、詩人のイアコボス・カンバネリス<sup>2</sup>の4編の詩に作曲した作品である。

第二次世界大戦時にカンバネリスはナチスによりオーストリアのマウトハウゼン強制収容所に収容された。そこでは12万人以上が犠牲者となった。カンバネリスは、連合国による解放後そこで目撃した出来事と残虐行為を記したメモにもとづいて『マウトハウゼン』という題名の小説を1965年に出版した。この小説の出版の際に、カンバネリスは小説の内容から4編の詩を創作し、テオドラキスに作曲を依頼した。

作品はマウトハウゼンで囚人としてのカンバネリス自身の体験を反映している。同じく囚人であるリトアニアのユダヤ人女性との恋愛について、彼らが収容所で目撃した残虐行為の最中に体験した出来事を描いている。

最初の「歌の中の歌」は、大量殺戮であるホロコーストについてこれまでに書かれた中で最も美しい音楽作品とされ、カンバネリスの感動的な言葉を高いレベルにまで引き上げた絶妙で忘れがたい情熱的なメロディといわれる。

この研究ノートでは、4編の歌詞<sup>3</sup>の筆者による日本語への試訳を紹介した後、おもにフリー百科事典『ウィキペディア』に掲載の歌詞の解釈とこれまでの公演、ホロコーストとの関係等<sup>4</sup>、およびテオドラキス研究家の Gail Holst-Warhaft による歌詞とメロディの関わりについて述べる。

---

1 ミキス・テオドラキス (1925-) は、14 歳の時から作曲を始めて、1950 年にアテネ・コンセルバトワール卒業の後、1954 年から奨学金を得てパリ・コンセルバトワールで作曲を学んだ。シンフォニー、ピアノソナタ曲などクラシック音楽の作品を当初発表して数々の賞を受けた。ヤニス・リッツォスの詩「エピタフィオス」の作曲で名声を博した。1967 年～1974 年の軍事独裁政権時代に左翼活動のため逮捕、流刑された。当時、テオドラキスの音楽は歌うことはもちろん、聴くこともレコードの所持も禁止された。

2 イアコボス・カンバネリス (1921-2011) は、ギリシアの劇作家、詩人。ナクソス島出身。1935 年に家族とともにアテネへ引っ越した。その後、ナチス・ドイツ占領下のギリシアから逃亡を試みて逮捕され 1942 年にマウトハウゼン強制収容所に送られたが、1945 年に終戦とともに解放された。非ユダヤ人である。経歴と作品は、以下の公式ホームページを参照。  
[http://www.kambanellis.gr/?page\\_id=105](http://www.kambanellis.gr/?page_id=105)

3 この4曲の歌詞は、Μίκης Θεοδωράκης, *Μελοποιημένη Ποίηση, Τόμος Α', Τραγούδια, ύψιλον/ βιβλία Αθήνα* 1997より引用した。

4 「マウトハウゼン・トリロジー」[https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen\\_Triology](https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen_Triology) から引用した。「マウトハウゼン・トリロジー」は、1995 年のマウトハウゼン強制収容所解放 50 周年記念公演を採録した CD のタイトル。

## 『マウトハウゼンのバラード』の試訳

### Η ΜΠΑΛΑΝΤΑ ΤΟΥ ΜΑΟΥΤΧΑΟΥΖΕΝ マウトハウゼンのバラード

#### 1. ΑΣΜΑ ΑΣΜΑΤΩΝ

Τί ωραία πού είν' η αγάπη μου  
μέ τό καθημερινό της φόρεμα  
κι ένα χτενάκι στά μαλλιά.  
Κανείς δέν ήξερε πώς είναι τόσο ωραία.

*Κοπέλες τού Άουσβιτς  
τού Νταχάου κοπέλες  
μήν είδατε τήν αγάπη μου;*

Τήν είδαμε σέ μακρινό ταξίδι  
δέν είχε πιά τό φόρεμά της  
ούτε χτενάκι στά μαλλιά.

Τί ωραία πού είν' η αγάπη μου  
η χαϊδεμένη από τή μάνα της  
καί τ' αδελφού της τά φιλιά.  
Κανείς δέν ήξερε πώς είναι τόσο ωραία.

*Κοπέλες τού Μαουτχάουζεν  
κοπέλες τού Μπέλσεν  
μήν είδατε τήν αγάπη μου;*

Τήν είδαμε στήν παγερή πλατεία  
μ' ένα αριθμό στό άσπρο της τό χέρι  
μέ κίτρινο άστρο στήν καρδιά.

歌の中の歌

わたしの恋人はなんて美しいのか  
普段着のまま  
小さな髪飾りをつけて。  
そんなに美しいとはだれも知らなかった。

アウシュビッツの若い娘たち  
ダハーウの若い娘たち  
わたしの恋人を見かけませんでしたか？

長旅のあいだに彼女を見かけました  
いつものドレスをもう着ていなかったし  
小さな髪飾りもつけていなかった。

わたしの恋人はなんて美しいのか  
彼女はお母さんに可愛がられて  
兄から何度もキスされていた。  
そんなに美しいとはだれも知らなかった。

マウトハウゼンの若い娘たち  
ベルセンの若い娘たち  
わたしの恋人を見かけませんでしたか？

極寒の広場で彼女を見かけました  
白い腕に番号が彫られて  
胸には黄色い星が描かれていました。

## 2. Ο ΑΝΤΩΝΗΣ

Εκεί στη σκάλα τήν πλατιά  
στή σκάλα τών δακρύων  
στό Βίνερ Γκράμπεν τό βαθύ  
στό λατομείο τών θρήνων.

*Εβραίοι κι αντάρτες περπατούν  
Εβραίοι κι αντάρτες πέφτουν  
Βράχο στή ράχη κουβαλούν  
Βράχο σταυρό θανάτου.*

Εκεί ο Αντώνης τή φωνή  
φωνή φωνή ακούει  
ώ καμαράντ, ώ καμαράντ  
Βοήθα ν' ανέβω τή σκάλα.

*Μά κεί στη σκάλα τήν πλατιά  
καί στών δακρύων τή σκάλα  
τέτοια βοήθεια είναι βρισιά  
τέτοια σπλαχνιά κατάρα.*

Ο Εβραίος πέφτει στό σκαλί  
καί κοκκινίζει η σκάλα  
κι εσύ λεβέντη μου έλα εδώ  
βράχο διπλό κουβάλα.

*Παίρνω διπλό, παίρνω τριπλό  
μένα μέ λένε Αντώνη  
κι άν είσαι άντρας, έλα εδώ  
στό μαρμαρένιο αλώνι.*

アンドニス

そこは幅広い階段  
涙にまみれた階段  
ビネル・グラーベンの奥深い  
働哭の石切り場の。

ユダヤ人とパルチザンが進む  
ユダヤ人とパルチザンが倒れる  
背中で岩を運ぶ  
死の岩の十字架。

そこでアンドニスがその声  
声、声を聴く  
おお、仲間よ、おお、仲間よ  
階段を上がるのを助けてくれ。

でも、そこは幅広い階段  
涙にまみれた階段  
そんな手助けは侮辱であり  
そんな憐れみはクソ喰らえ。

ユダヤ人が階段で倒れて  
階段が赤く染まる  
俺が頼りにするおまえ、ここへ来て  
岩を二倍運んでくれ。

二倍持ってゆく、三倍持ってゆく  
俺はアンドニス  
おまえが男なら、ここへ来てくれ  
大理石の脱穀場へ。

### 3. Ο ΔΡΑΠΕΤΗΣ

Ο Γιάννος Μπέρ απ' τό βοριά  
τό σύρμα δέν αντέχει  
κάνει καρδιά, κάνει φτερά  
μές στά χωριά τού κάμπου τρέχει.

Δώσε κυρά λίγο ψωμί  
καί ρούχα γιά ν' αλλάξω  
δρόμο νά κάνω έχω μακρύ  
πάν' από λίμνες νά πετάξω.

Όπου διαβεί κι όπου σταθεί  
φόβος καί τρόμος πέφτει  
καί μιά φωνή, φριχτή φωνή  
κρυφτείτε απ' τόν δραπέτη.

Φονιάς δέν είμαι, χριστιανοί,  
θεριό γιά νά σάς φάω  
έφυγα από τή φυλακή  
στό σπίτι μου νά πάω.

Ά, τί θανάσιμη ερημιά  
στου Μπέρτολτ Μπρέχτ τή χώρα  
δίνουν τό Γιάννο στους Ές Ές  
γιά σκότωμα τόν πάνε τώρα

脱走者

北から来たヤノス・ベルは  
有刺鉄線に耐えきれず  
勇気を出し羽ばたいて  
平原の村の中へ駆け込む。

おかみさん、パンを少し分けてくれ  
そして着替えるために服も

ゆくべき道のりは長い  
溜め池を飛び越えてゆかねば。

通り過ぎて立ちどまるときはいつでも  
恐怖と戦慄が襲い  
そして声、身の毛もよだつような声  
脱走者から身を隠してください。

わたしは人殺しではない、キリスト教徒だ  
あなたを喰うケダモノではない  
収容所から逃げてきた  
自分の家へ帰るために。

ああ、なんという情け容赦のない死に場所なのか  
それはベルトルト・ブレヒトにあり  
ヤノスを引き渡されたS.S.は  
かれを殺すために今連行してゆく。

#### 4. ΑΜΑ ΤΕΛΕΙΩΣΕΙ Ο ΠΟΛΕΜΟΣ

*Κορίτσι μέ τά φοβισμένα μάτια  
κορίτσι μέ τά παγωμένα χέρια  
άμα τελειώσει ο πόλεμος μή μέ ξεχάσεις.*

Χαρά τού κόσμου έλα στήν πύλη  
ν' αγκαλιαστούμε μέσ στό δρόμο  
νά φιληθούμε στήν πλατεία.

Στό λατομείο ν' αγαπηθούμε  
στίς κάμαρες τών αερίων  
στή σκάλα, στά πολυβολεία.

Έρωτα μέσ στό μεσημέρι  
σ' όλα τά μέρη τού θανάτου  
ώσπου ν' αφανιστεί η σκιά του.



*Κορίτσι μέ τά φοβισμένα μάτια  
κορίτσι μέ τά παγωμένα χέρια  
άμα τελειώσει ο πόλεμος μή μέ ξεχάσεις.*

戦争が終わっても

怯えた目をした少女  
凍えた手をした少女  
戦争が終わってもわたしを忘れないで。

この世の喜び、門のところへ来て  
道の真ん中で抱き合い  
広場でキスし合うために。

石切り場で愛し合うために  
あのガス室で  
階段で、機関銃座で。

昼日中に愛を交わす  
すべての死に場所で  
死の影が消え失せるまで。

怯えた目をした少女  
凍えた手をした少女  
戦争が終わってもわたしを忘れないで。

## 歌詞の解釈

Άσμα ασμάτων（歌の中の歌）は旧約聖書の *Song of Songs* の恋愛詩<sup>1</sup>にある程度影響を受けた詩句である。

初めに *Τί ωραία πού είν' η αγάπη μου*（わたしの恋人はなんて美しいのか）と歌う。そして、わずかの望みを抱いて恋人を捜し出そうとする若い男の苦闘が描かれる。カンバネリスは旧約聖書の *Song of Songs* の問いかけ、「わたしの恋人を見かけませんでしたか？」を歌詞の折り返し句として使っている。

歌詞の中で、主人公は強制収容所の少女たちに彼の恋人を見かけたかどうか尋ねる。「アウシュビッツ<sup>2</sup>の若い娘たち / ダハーウの若い娘たち / わたしの恋人を見かけませんでしたか?」、そしてその答えは「長旅のあいだに彼女を見かけました / いつものドレスをもう着ていなかったし / 小さな髪飾りもつけていなかった」。

それから彼はもう一度尋ねる。「マウトハウゼンの若い娘たち / ベルセンの若い娘たち / わたしの恋人を見かけませんでしたか?」、そして受け取った答えは「極寒の広場で彼女を見かけました / 白い腕に番号が彫られて / 胸には黄色い星が描かれていました<sup>3</sup>」。

「アンドニス」では、マウトハウゼンの石切り場<sup>4</sup>で重労働に従事したユダヤ人の囚人の受難が、反抗的な、破滅的な雰囲気をもじえて語られる。アンドニスはギリシア人の囚人で、これ以上動けなくなり助けを求めたユダヤ人の友人が重い岩を 186 段の階段の上まで運び上げるのを助けようとする。その岩石はウィーンの通りの舗装をするために使われる。

歌詞は「そんな手助けは侮辱であり / そんな憐れみはクソ喰らえ」と述べて、他の収容者を助けることはナチス親衛隊 (S.S.= Schutzstaffel の略) により厳しく罰せられることを示唆している。

しかし、アンドニスはためらうことなく彼の友人を助ける。親衛隊の看守はあいだに入り、アンドニスを罰するために 2 倍の重さの岩を運ぶように命ずる。その時、アンドニスは看守が示したよりさらに重い岩を選び階段の上まで運ぶ。

アンドニスは自分の名前をギリシア語で名乗る。μένα μέ λένε Αντώνη κι άν είσαι άντρας, έλα εδώ στό μαρμαρένιο αλώνι (俺はアンドニス / おまえが男なら、ここへ来てくれ / 大理石の脱穀場へ)。親衛隊の看守に反抗して、本当の男はナチスの石切り場で自分達の生命のために闘うことを暗示する。大理石の脱穀場のイメージはギリシアの民衆文学に共通しており、アクリタスの民衆歌謡に由来する。「大理石の脱穀場でのカローン (三途の川の渡し守)、そして、死との人類の闘いのある種の代表者としての」ディゲニス・アクリタス<sup>5</sup>である。

「脱走者」では、脱獄囚である「北から来たヤノス・ベル」の冒険譚と彼を「悲劇的な運命」に導く S.S.による逮捕が歌詞を通して語られる。

最後の歌詞の「戦争が終わっても」は、恋人との再会の空想的物語である。それは、「怯えた目をした少女 / 凍えた手をした少女」として登場する「歌の中の歌」の恋人をめぐる完全な集大成であり、初めの場面の「歌の中の歌」の

主人公が、強制収容所の中の至るところで死をめぐり去る手段として「昼日中に愛を交わす / すべての死に場所で / 死の影が消え失せるまで」と歌う。

---

1 「雅歌」。英語で *Song of Songs*、あるいは *the Song of Solomon*。旧約聖書（ヘブライ聖書）の中の一編。男女の恋の歌であり、ユダヤ教では「諸書」のうちに入る。キリスト教では伝統的に「預言書」の前に置かれる。恋愛と男女の賛美を歌い上げる詩であるため、扱いをめぐって古くから議論が絶えなかったが、さまざまな経緯を経て正典に収められた。

2 アウシュビッツはナチスの絶滅収容所であり、ダハーウ、マウトハウゼン、ベルゼン強制収容所である。絶滅収容所はユダヤ人殺害のみを目的とし、強制収容所はユダヤ人に加えて政治犯や占領地域を中心に軍需労働のために強制連行してきた外国人や捕虜を収容した。

3 腕の番号とは囚人の管理番号を入れ墨で彫ったものである。胸の黄色い星は囚人服に貼られた囚人の国籍等を表示する記章。ユダヤ人には、ダビデの星をあしらい互いに重ね合わせた二つの黄色い三角形の記章を囚人服に縫い付けた。

4 マウトハウゼンはドナウ川左岸の丘に囲まれた町で、当時オーストリア最大の花崗岩採石場があった。この採石場を見下ろす丘の上にマウトハウゼン強制収容所が建設された。この収容所の採石場での花崗岩採掘は非常に過酷な労働現場であった。囚人たちは重い石材を担ぎ「死の階段」と呼ばれる 186 段の石段を登って花崗岩の石材を丘の上まで運ばされた。途中、看守の暴行で石段から突き落とされたり、石材に押しつぶされて命を落とすことがあり、ここの採石場に送られることは囚人たちにとって事実上、死刑宣告も同然であった。

マウトハウゼン強制収容所は以下の URL を参照。「死の階段」の写真も掲載されている。

[https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen\\_concentration\\_camp](https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen_concentration_camp)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/マウトハウゼン強制収容所>

5 ディゲニス・アクリタスは、11 世紀から 12 世紀にかけて成立したと推測される、ビザンツ時代の東部辺境での異民族との戦いやその英雄についての叙事詩。19 世紀後半にその存在が知られるようになった。

## 歌詞とメロディ

Gail Holst-Warhaft は、歌詞とメロディに関して次のように述べている<sup>1</sup>。歌集の最初の「歌の中の歌」は、テオドラキスがこれまでに作曲した最も優れた作品のひとつである。この曲は、ギリシア正教会のパームサンデイ（枝の主日、棕櫚の主日）の讃美歌の要素を使っている。「歌の中の歌」はメロディと歌詞

が密接に一致しており、ハーモニーとリズムが広がり、真つすぐな美しい旋律、テオドラキスの表現力の高さが認められる。

それは愛についての単純な語り、「わたしの恋人はなんて美しいのか / 普段着のまま / 小さな髪飾りをつけて」で始まる。

そのメロディは単純に四分音符で繰り返されるが、へ短調のハーモニーが変ホ長調に交替し、9/8拍子が6/8拍子に替わる小節により不思議な魅力を与えられる。そして、へ短調から変口短調に移行する2番目のメロディが来る。その歌詞は「そんなに美しいとはだれも知らなかった」であり、3音符の降下で終わる。ここが歌詞の初めで強調されて、美しい *ωραία* (o-rai-a) という言葉の真ん中の長い音節ですすり泣きのように聴こえる。

「アウシュビッツの若い娘たち / ダハウの若い娘たち」は、「わたしの恋人を見かけませんでしたか？」という哀願する歌詞が続いて、低い調子を3回繰り返す。「長旅のあいだに彼女を見かけました」のところでその恐ろしい答えに対して、新たに調子を深くまで引き下げる。彼女は「いつものドレスをもう着ていなかったし / 小さな髪飾りもつけていなかった（初めの調子より1オクターブ低い）」。

へ短調の三和音が死を告げる鐘の音のように聴こえる。それから、美しい初めのメロディが再び始まる。次の楽譜を参照。

πιά τό φόρεμά της ούτε κτενάκι στάμαλιά  
 Τι ορέα πουϊνή απί μου  
 Τι ωραία που εϊνή απί μου

マウトハウゼン歌集の他のどの歌も「歌の中の歌」ほど印象的ではない。「アンドニス」は、輝かしい明快な呼びかけの歌に属し、6/8拍子で繰り返す音符の同じパターンで始まる。歌詞は、「そこは幅広い階段 / 涙にまみれた階段 / ビネル・グラーベンの奥深い / 慟哭の石切り場の / ユダヤ人とパルチザンが進む」。そして、旋律を下げて同じ調子を繰り返して彼らは進む。

「脱走者」は悲劇を扱った奇妙に意気揚々とした歌である。それに続く最後の歌、「戦争が終わっても」は「歌の中の歌」の恋人の死を知らせる鐘が、ここでは復活の合図となる。「怯えた目をした少女 / 凍えた手をした少女 / 戦争が終わってもわたしを忘れないで / この世の喜び、門のところへ来て / 道の真ん中で抱き合い / 広場でキスし合うために」。再び、鐘の響きが希望に満ちて、絶望することなくわれわれを「歌の中の歌」のもとのメロディに導く。

---

1 Gail Holst, *Theodorakis, Myth & Politics in Modern Greek Music*, Adolf M. Hakkert Publisher, Amsterdam 1980. pp. 118-121

## 歌手マリア・ファランドゥーリについて

Gail Holst-Warhaftのマリア・ファランドゥーリについての解説は以下の通りである。

「歌の中の歌」の演奏は目立つものではない。作品は歌手の声に多くを頼っている。信じられないほど尋常ではない力と感情表現の深さをもつ声である。1965年のオリジナル録音で歌ったのは、1947年生まれの高校を出たばかりの若いギリシアの女性マリア・ファランドゥーリであった。

歌手のビシコーツィスの声はテオドラキス作曲の「エピタフィオス」やレベティカの影響の強い歌に理想的に適していた。それはライカ音楽の声の典型であり、大衆歌謡の声であった。マリア・ファランドゥーリの声はなにか別のものだった。それはどの基準にしたがっても素晴らしい声であるだけでなく、感傷的ではないが感情に強く訴えるものがある。大衆にアピールするために姿を見せるのではなく、その声により大衆を動かせることができた。声は暖かく、低音で、女性的、感傷はない<sup>1</sup>。テオドラキスは、ファランドゥーリが歌うのを初めて聴いたときにそのような声の可能性を認識した。

---

1 1966年にピレウスの劇場で公演したマリア・ファランドゥーリの映像を次の URL で観ることができる。 <https://www.youtube.com/watch?v=l7wuRxbLbKE>

テオドラキスの指揮の下、「アンドニス」が先に始まり、つぎに「歌の中の歌」が演奏される。当時ファランドゥーリが19歳、テオドラキスが41歳である。

## ホロコースト研究者の評価

ホロコースト研究者の音楽と教育面からの評価を下記に紹介する。

Jerry Silvermanは、著書『不滅の炎：ホロコーストのバラードと歌』<sup>1</sup>の中で、われわれは「歌の中の歌」の情熱的な歌詞と忘れられないメロディに共に心を奪われ、そして「カンバネリスは彼の本の中の挿話にもとづく4編からなる一群の詩を書いて、ミクス・テオドラキスが愛情をもって作曲した」と述べている。Silvermanは、この作品を「並外れて感動的」と呼ぶ。

Yair Auronは、著書『知識の苦悩：教育におけるホロコーストと集団虐殺の問題』<sup>2</sup>の中で、カンバネリスの詩「歌の中の歌」はホロコーストの犠牲者に対する世界の人々の態度の一面にユニークな方法で触れている、と書いている。さらにAuronは、以下のように述べている。その繊細で詩的な成句と聖書の「歌の中の歌」（ソロモンの歌）への言及を通して、読み手の関心は抽象的な普遍化よりも外面上は平凡でささいな事柄に向けられ、このようにしてこの詩は特定の人物（この場合は、ユダヤ人の若い女性）との個人的な同一化を引き起こす。Auronは、詩のこれらの特徴が詩そのものと同様に歌詞の中で描写された出来事を取り巻く、より大きな歴史的な状況に生徒が興味を抱くだろう、と結論付けている。

カンバネリスの詩「歌の中の歌」は、イスラエルの中等学校の文学の新教科課程用に承認され、第7学年の教科書に採用された。

---

1 Jerry Silverman *The Undying Flame: Ballads and Songs of the Holocaust : 110 Songs in 16 Languages with Extensive Historical Notes, Illustrations, Piano Arrangements, Guitar Chords, and Singable English Translations* Syracuse University Press. p. 28, 2002

2 Yair Auron *The Pain Of Knowledge: Holocaust And Genocide Issues In Education* Transaction Publishers. p. 57, 2005

## 公演と映画その他の受容

1988年5月にオーストリアのマウトハウゼン強制収容所跡地で『マウトハウゼンのバラード』の公演が当時のオーストリア首相フランツ・フラニツキート数多くのヨーロッパ人が参加して開催された。作品はテオドラキスの指揮で、

マリア・ファランドゥーリがギリシア語で、エリノール・モアヴがヘブライ語で、ジセラ・メイがドイツ語で歌った。

そして、1995年5月には、ナチスからの収容所解放50周年の記念式典において、同じ収容所跡地でこの作品をテオドラキスが指揮して、マリア・ファランドゥーリら各国の歌手がギリシア語、ヘブライ語、ドイツ語、英語で歌った。マウトハウゼン歌集は、マウトハウゼン強制収容所の出来事に触発されて作られた最も知られた音楽作品のひとつであり、記念式典では世界的に平和と協調を促進するために歌われた。

「アンドニス」はコスタ・ガブラス監督の1969年の映画「Z」のテーマ音楽に使われて、そのサウンドトラック版は1970年の最優秀映画音楽のBAFTA賞（英国アカデミー賞）を授与された。この作品は、1963年のギリシアの左派のランブラキス国会議員の暗殺事件をもとに製作された映画である。

「歌の中の歌」はテオ・アンゲロプロス監督の1998年の映画「永遠と一日」の中で、映画のテーマ音楽とは別に30年前の夏の一日の回想場面（海のヨット上）で歌われている。監督にとって当時の一番印象に残っている歌として使ったのだろうか。映画はカンヌ映画祭で最高賞のパルムドール賞を受賞した。

先述の「マウトハウゼン・トリロジ」のWikipediaサイトによれば、「アンドニス」は2001年にアフガニスタンのイスラム原理主義組織のタリバンを放逐する北部同盟の部隊をカブールで歓迎するときに市民に歌われた。

さらに、この曲はシリア内戦中の2014年のコバニでのクルド女性兵士のIS（イスラム国）との戦闘を紹介するビデオの背景曲としてクルド人たちに使われた。

## おわりに

『マウトハウゼンのバラード』は、人類共通の深刻で困難な重い主題を詩と音楽で表現した作品であり、ホロコーストの研究者からも高く評価された。

「歌の中の歌」は文中でも触れたが、曲はギリシア正教会のパームサンデイ（枝の主日、棕櫚の主日）の讃美歌の要素を含んでいるという。どの個所がそれに該当するのか、メロディを比較研究してこの曲のもつ美しさを宗教音楽との関連を考慮しながらさらに解明できたらと考える。

そして、この曲の美しさの中に、世界に対して訴え共感を得られるヒューマ



ニズム、その普遍性を感じ取れるのではないだろうか。犠牲者にとっては鎮魂歌であり、加害者には贖罪の念を抱かせるはずである。

ホロコーストは、欧州社会が歴史的に持ち続けた反ユダヤ主義を独裁者が巧みに利用して実行させたものである。ユダヤ人摘発と強制収容所送りは、一般大衆の積極的な支持、あるいは黙認がなければ実現しなかったからである。この曲は大衆のそのような差別意識を解き放つ作用や克服する力をも持ち合わせているかもしれない。

「アンドニス」はどんな状況に置かれても人間が本来持つ戦う意思や闘争本能を鼓舞する曲であり、人間の意識を覚醒させる効果を持つ。そのためアフガニスタンやシリアの戦場において当事者の信じる正義を主張するためにこの曲が使われたのだろう。

カンバネリスの詩とテオドラキスの音楽が融合することにより、これらの作品は人々の心を真に動かすことができたといえよう。

#### 参考資料

1. ΜΙΚΗΣ ΘΕΟΔΩΡΑΚΗΣ, *Μελοποιημένη Ποίηση, ΤΟΜΟΣ Α', ΤΡΑΓΟΥΔΙΑ*, ύψιλον/βιβλία Αθήνα 1997
2. GAIL HOLST, *THEODORAKIS, Myth & Politics in Modern Greek Music*, Adolf M. Hakkert – Publisher – Amsterdam 1980
3. *I HAD THREE LIVES Selected Poems of Mikis Theodorakis* Translated by GAIL HOLST-WARHAFT, Livani Publishing Organization, Athens 2004
4. GEORGE GIANNARIS, *Mikis Theodorakis Music and Social Change*, George Allen & Unwin Ltd. London 1973
5. ΙΑΚΩΒΟΣ ΚΑΜΠΑΝΕΛΛΗΣ, *ΜΑΟΥΤΧΑΟΥΖΕΝ ΔΕΚΑΤΗ ΕΝΑΤΗ ΕΚΔΟΣΗ ΣΥΜΠΛΗΡΩΜΕΝΗ*, ΚΕΔΡΟΣ, 1995
6. Iakovos Kambanellis *MAUTHAUSEN* Translation Gail Holst-Warhaft, Kedros Publishers, S.A. Athens, 1995
7. Jerry Silverman, *The Undying Flame: Ballads and Songs of the Holocaust : 110 Songs in 16 Languages with Extensive Historical Notes, Illustrations, Piano Arrangements, Guitar Chords, and Singable English Translations*,



Syracuse University Press., 2002

8. Yair Auron, *The Pain Of Knowledge: Holocaust And Genocide Issues In Education*, Transaction Publishers., 2005

9. C.M. ウッドハウス、西村六郎訳『近代ギリシア史』みすず書房 1997

10. 芝健介『ホロコースト ナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌』中公新書  
中央公論新社 2018

11. V・E・フランクフル、池田香代子訳『夜と霧』新版 みすず書房 2019

12. CD :

*The Ballad of Mauthausen*, Mikis Theodorakis, Maria Farandouri, 14C 045 702042,  
EMI Greece S.A.

13. VIDEO/DVD :

VIDEO “Z” VZ-1204 1969 (株)東北新社

DVD 「永遠と一日」 KKDS-143 1998 (株)IMAGICA (株)紀伊国屋書店

14. URL :

[http://www.kambanellis.gr/?page\\_id=105](http://www.kambanellis.gr/?page_id=105)

[https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen\\_Triology](https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen_Triology)

[https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen\\_concentration\\_camp](https://en.wikipedia.org/wiki/Mauthausen_concentration_camp)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/> (マウトハウゼン強制収容所)

<https://www.youtube.com/watch?v=l7wuRxbLbKE>